



分科会名：トイレ空間での新たな価値提案

- リーダー機関：TOTO株式会社
- 代表者：TOTO株式会社 レストルーム事業統括本部 本部長 鈴木 裕之
- リーダー：TOTO株式会社 レストルーム事業統括本部 レストルーム住宅商品企画部 部長 江上 勝弘
TOTO株式会社 レストルーム事業統括本部 レストルーム住宅商品企画部 技術主幹 松下 博之
TOTO株式会社 ウォシュレット生産本部 ウォシュレット品質保証部 ウォシュレット技術法規G
グループリーダー 岡野 慎司
- 取組内容：トイレを利用した健康な暮らしのサポート
- 社会課題分野：ヘルスケア

TOTO 商品開発の歴史

商品開発100年の歴史

- 1912年 ■ 日本陶器合名会社内に製陶研究所設立
衛生陶器の製造研究開始
- 1914年 ■ **日本初**衛生陶器の製造・販売 → 
- 1917年 ■ 北九州市小倉に東洋陶器株式会社設立
● 衛生陶器の製造・販売スタート
- 1946年 ● 水栓金具生産開始
- 1955年 ● 衛生陶器の量産化技術確立
- 1958年 ● **日本初**FRP浴槽開発 → 
FRP:繊維強化プラスチック
- 1963年 ● **世界初**のユニットバスルーム工法開発 → 
- 1968年 ● 洗面化粧台発売
- 1970年 ■ 東陶機器株式会社に社名変更
● 鋳物ホーローバス開発
- 1980年 ● 温水洗浄便座「**ウォシュレット**」発売 → 
- 1981年 ● システムキッチン発売
- 1985年 ● 洗髪洗面化粧台「ジャンプドレッサー」発売
- 1986年 ● 「インテリジェントトイレ」発売(NTT、オムロン、TOTO)
- 2005年 ● 「インテリジェン**ス**トイレ」発売(大和ハウス、TOTO)
- 2007年 ■ T O T O 株式会社に社名変更

健康トイレの歴史

1986年発売
「インテリジェントトイレ」



尿糖チェック
(尿糖他)
血圧

進化

2005年発売
「インテリジェン**ス**トイレ」



尿糖値
血圧
体脂肪
体重

100年の歴史のなかで「健康トイレ」も発売

本分科会の狙い トイレ空間での新たな価値の構成

ウェルネストイレの取り組み：CLEANLINESS—For Your Wellness

「CSE 2021」でコンセプトを表明したウェルネストイレの取り組みは、お蔭様で世界中の多くの方々に関心を寄せていただきました。

複数の最先端のセンシング技術により、いつものようにトイレを使用するだけで体の状態を把握・分析し、ウェルネスに関するレコメンドがスマートフォンのアプリを通して届く—TOTOがめざしているウェルネストイレの実現に向けて、想いを共有いただいているスタートアップ企業や研究機関とともに開発を進めています。



トイレを使うことで健康（ウェルネス）のケアをする

トイレを使うだけで

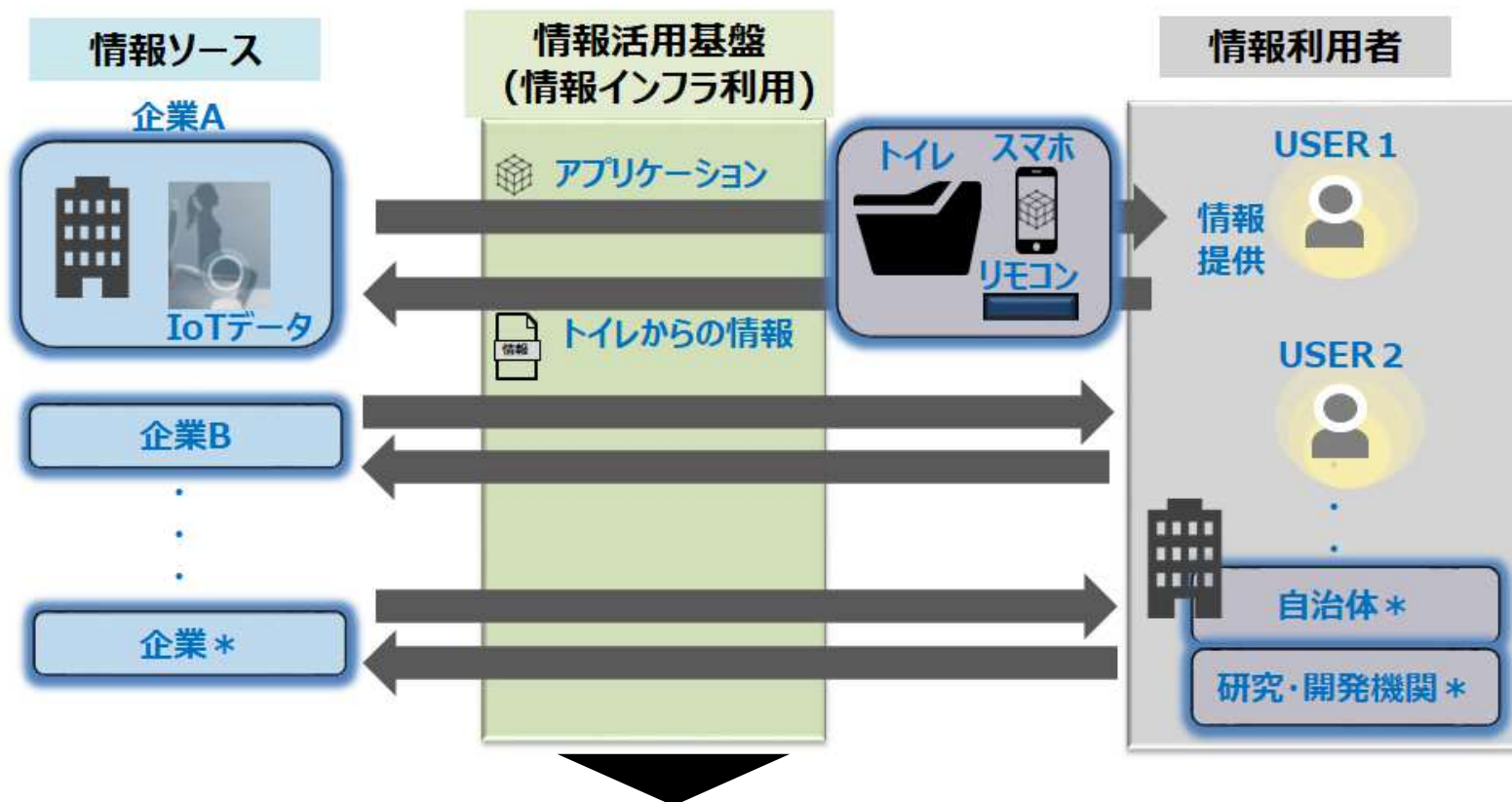
日常を通してウェルネス
状態をチェック

スマートフォンのアプリで
レコメンドを受け取る



トイレから得た情報を収集・分析し、新たな価値として提案

トイレ空間での新たな価値提案 情報活用



課題： 様々な企業がユーザーや自治体など情報利用するステークホルダーに独自の情報を展開。

統一した情報活用ができない

解決手段： トイレから得られた情報を標準化し、誰もが使いやすいヘルスケア情報基盤創りを目指したい

トイレ空間での新たな価値提案 標準化に向けた推進日程（案）

内容	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
トイレから得られた情報・用語定義	→				
トイレから得られた情報・要件定義	→	→	→		
トイレから得られた情報・測定方法検討		→	→		
周辺機器との連携/データ連携の推進	→	→	→		
トイレから得られた情報・標準化			→	→	→

地域情報インフラ提供企業等に参入頂き推進

公的機関・所轄官庁・国際標準機関との連携を推進

標準化を推進していくことでトイレで得られた情報を価値として提供していきたい